

# 支部協だより ちやしがんじゅう

第224号

発行所  
NTT労組退職者の会  
沖縄県支部協議会  
沖縄県浦添市城間 4-35-1  
NTT 城間ビル 7F  
TEL.098-870-7101  
FAX.098-875-7450  
発行責任者  
会長 金城 章

## 子どもたちの明るい未来のために！ 「ゆめ・みらい基金へ寄付金贈呈」

去る11月14日(火)、沖縄県労働金庫会議室にて「ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄付金贈呈式を行いました。本件は、NTT労組退職者の会「第25回定期総会」において社会貢献活動の一環として承認いただきました。

退職者の会を代表して金城章会長より「沖縄県の子どもの貧困問題について大いに関心を寄せている。年末年始の時期を前に食糧支援や子どもたちの夢をつなぎ育むために役立てていただきたい。当会で



は課題改善に向け継続し取り組んでいきたい」とあいさつし、基金事務局を務める沖縄県労働者福祉基金協議会(労福協) 仲宗根哲理事長へ寄付金10万円を贈呈しました。

仲宗根理事長は、「物価高騰による生活苦で子どもたちを取り巻く環境はますます悪化しているのが現状。食料支援や学用品の購入などの生活支援をはじめ、高校生の就活の資格取得受験料の給付など自立に向けた支援にも取り組んでいる。子供のアルバイト料さえ生活費に消えていくケースもあり、子どもの貧困問題は深刻で喫緊の課題。皆様からの貴重な寄付金を大切に利用させていただきます。」との感謝の言葉と感謝状が当会に送られました。意見交換では、県内には様々な事情で行政や福祉支援団体に到達で

きない方々もるとの情報共有されました。

私たちNTT労組退職者の会では、会員のみならず一層に情報収集を行いながら地域貢献に寄与していくこととします。ご協力をお願いいたします。 幹事 高良恵二

### 北部地区協

会員同志のコミュニケーション活動の継続・発展

北部地区協の「第21回定期総会」が11月15日30名余りの会員の出席で4年振りに開催された。支部協からは新任の喜久里事務局長初め3名と、分会からは比嘉分会会長、桃原グル連事務局長が参加した。司会の当山幹事の音頭に始まり、神山会長からコロナ禍における活動制限からもやっ



## 戦争はさせない！

全国連帯！  
沖縄から発信しよう！

「11.23 県民平和大集会」に退職者の会の仲間と参加しました。

集会は、玉城デニー知事の「子供たちの未来が戦争の未来であってはいけない」の挨拶から始まり、南西諸島の軍事要塞化が構築されている事に、石垣や各地域からの発言もこの「沖縄を戦争にはいけない」と強い危機感のある発言がありました。

今ある沖縄が戦争に巻き込まれる危険性を熟々感じさせられ、反戦・平和について再考させられた集会でした

幹事 富元 忠

と解放された今日、総会開催が出来たことを誇らしげに開会挨拶が行われた。

喜久里事務局長は、北部から支部協総会に5名の参加への感謝と辺野古の取組み等、今年は色々な取組みを地区協と連携し行っていくと挨拶した。続いて比嘉分会会長からは、来年の6月の県議選挙や辺野古反対で知事を支えていくと挨拶された。来賓には、山里県議と労金與那支店長から連帯の挨拶を頂いた。

北部地区協について、与那覇相談役から高齢化での組織運営の課題、更に地区協が



### 宮古地区協

「サークル活動の発展」で地域の活性化をはかりたい。

去る11月15日、宮古地区協定期総会へ松田竹徳副会長と与儀で参加。レクリエーション(グラウンドゴルフ)と定期総会・懇親会の2部構成ですすめられた。

グラウンドゴルフは25名が参加し、交流を深めながら元気にゲームを楽しんでいた。グラウンドの場所が会員の私有地と恵まれているのもあり、サークル活動としてのグラウンドゴルフが盛んな要因の一つだと感じた。



を図りたいとし、サークルを増やしたいとのことでした。松田副会長から、「お元気コール」を始めるので快く電話に出るよう依頼をされた。宮古地区協の発展とご活躍を願います。会員の皆様と楽しく、そして有意義な時間を共有できて嬉しく思います。お世話になりました。 幹事 与儀寿美子



# マイカー共済、台風被害、暮らしの安心と安全について遠慮なく相談下さい！



こくみん共済COOP沖縄推進本部長 砂川 安弘氏

NTT労組退職者の会会頭先輩の皆様、大変お世話になっております。今年7月28日より、こくみん共済COOP沖縄推進本部本部長に就任しました砂川安弘です。同時に早速NTT労組退職者の会にも入会してまいります！(笑)どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は、1982年「宮古電報電話局 業務課 電信係」採用

同時に労働組合員として先輩方から様々なご指導をいただいております。1998年12月に、NTT労組沖縄県支部執行委員となり深く労働運動にのめり込んでいくこととなります。(笑)厳しい経験が多かったです！(泣)

2017年から2023年までの6年間を連合沖縄で活動する機会をいただきましたが、任期期間の大半を新型コロナウイルス流行の中で過ごすことになりました。多くの労働現場組合員の疲弊、経済の落ち込み、コミュニケーション不足等、苦しい組織運営を経験しました。

こくみん共済COOP就任直後は台風6号が直撃し、長時間に渡って県内各地に被害をもたら



したことは皆さんの記憶にも残っていることでしょう。組合員の中から家屋や車両に関する被害も1000件近い申告を受け付けています。一日も早い共済金の支払いができるよう役職員が丸で取り組みを進めているところです。もう一つ、会員の皆様に大切なお知らせがあります。こくみん共済COOPは、10月10日に拠点を那覇市松尾から「那覇市古波蔵」に移転し、新装オープンいたしました。駐車スペースの確保、窓口も広くなり皆様のサービス向上がはかれるものと確信しています。地域貢献活動にも会員・福祉団体とともに積極的に参画し、身近な存在として県民の皆様へ、愛され・親しまれるよう頑張っ

ていきたいと考えています。

共に頑張つて参りましょう！

幹事 高良恵二・喜久里艶子

# ケンギーぬ アンヤタン かんやたん



知花賢宜

## 故郷ウチナー 思慕いる肝心

此ぬ前、大阪大正区ぬ千島グ  
ラウンドでいる。旭んじ「エイサ  
ーまつり」ぬ あいびくたん。

大阪大正区近辺ぬんかい、新垣・  
玉城・金城・新里・儀間・知念・  
東江などうぬ沖繩名字ぬあひ「リ  
トル沖繩」んり 言うたがや。

あん呼ばつとくる街が あんり  
ち 聞ちよいびくたん。  
昔え、「琉球人お断り」でい  
る看板があい、生活すんでい

る仕事、さんとうないびらん。  
名字ぬ、呼名変うたい、改名たい  
する人、達ん居いびくたん。  
色、分きん偏見ぬあひ、哀れぬだ  
んだん。口ね、言らんあたい

難儀苦行する時代があい、互に  
人、助き助きし、自然とう  
大正区内んかい集またんでい、言  
らつとよいびくん。ウチナー人ぬ  
「自信とう誇い」取戻すんりち  
うぬ祭り開催なたんでいぬ事や  
いびくん。四十九回目ぬ「エ

イサーまつり」やいびくたん。  
私達、字ぬ千原集落や、現在  
金網んかい、開まうつてい  
米軍ぬ飛行場なとよいびくん。戻  
いることよないびらん。還ま昔  
物食職、求んりち、首里・那覇  
から、家移、千原集落が住居な  
たる貧乏士族や、下卑者ぬ、汚  
りかかかし、屋取、鼠んり  
ち、呼ばつていん、他人ぬ負  
きて、ならんでいぬ、「負けん  
気、魂」し、千原ぬ人達や  
一生懸命、働ちよいびくん。

うりから、先祖ぬ御霊供養と  
う、頑丈・家庭繁盛・弥勤世  
果報念願し、ヤイサーが始ま  
いびくん  
(当時え、ヤイサー、んりちよ  
いびくたん)

千原エイサーや、昔ん、現在ん  
同ぬ形、やいびくん。うぬ形  
変うていぬないびらん、崩りてい  
ないびらん、日頃から稽古方し  
昔からぬ形、残ちよる訳やい  
びくん。

うぬような、千原屋取集落と  
う、大正区ぬ御衆様とう、何ぐが  
な、似ちよる所ぬあひ、「大阪  
んじぬエイサー」し、演舞らさ  
んでいぬ事、なたんりち思やび  
ん。

いゆいゆ本番、太鼓隊三列・エ  
イサー隊三列し、真つしぐ、出  
羽、「スリ・スリ・・・」し  
入場し、とよいびくん。うぬま

ま、久高節・仲順流れ(此処  
空手、使いる、腕前ぬ、見し所や  
い、満惚くしみわる、やるんりち  
気合、入つちよいびくたん)  
三列縦隊ぬから、越来ヨーぬ節  
し、円陣、組とよいびくん。

(御年寄が座ちよ、みせくる  
先輩方ぬ、目がギンキラギン。  
三十代かぬ？、笑いかんてい  
カチャーシー踊とよる若女性。  
自分ぬ、故郷、思慕いる顔・顔  
・顔・・・、越来ヨー・イ  
チユビー小節・伊集のガマク小節  
・収納奉行節・唐船トイし、入  
羽(退場)なとよいびくん。

在阪ウチナー人ぬ二世・三世  
んりどう二家庭とう、一緒、記  
念章真バチリ。「ありがとうござい  
ます」りち、言しとよ一緒  
居らん、なとよいびくたん。  
(演舞会場へと去つていった)  
神戸から来んでいぬ、大概二十  
代やいびくるはじり、色白・髪  
長、美人、若女性か

「肝」ドンドンして、肝  
フトウフトウしてました。自  
然とう、涙がでました。迫力あり  
ますね。沖縄でエイサーが見たい  
さあ」

「涙ソーソーしたんだね、あなた  
を見て私は涙グルグルだよ。道  
ジューニー見に嘉手納町に来たら  
いさあ。七月(旧盆)の精霊送り  
の翌日あるからね。満惚くしみく  
る腕前、見しくとよや」

「大坂ぬ御衆様！、チムテイチや  
いびくんとよ、負きてよないびら  
ん、一緒、気張てい、んくだな  
さい」

注釈①色分き(区別・差別の  
こと)  
注釈②人助け助き(ゆいま  
る精神のこと。昔は、砂糖黍  
など畑仕事を共同で、順番ご  
とに加作業を助け合っていた)  
注釈③汚りかか(とでも  
汚れているさま)  
注釈④屋取鼠(当時は「や  
どうい、いんちゆ」と言つて  
帰農士族を揶揄していた)  
注釈⑤弥勤世界果報(豊穰・  
豊年の世の幸福)  
注釈⑥肝ドンドン(感動してチ  
ム「心胸・心」高鳴る様子)  
注釈⑦肝フトウフトウ(感動す  
るあまりガタガタ震えること)  
注釈⑧チムテイチ(心を二つに  
すること)

※、興きようせい出版の  
「嘉手納町 千原誌」参照  
・新垣光勇・編著、郷土出  
版の「沖縄語死語コレクシ  
ョン」参照  
・徳間進著書・タイムス社  
発行「うちなあーくちフイ  
ーリングパート4」参照

「会員の計報について」  
謹んでご報告し、故人の  
ご冥福をお祈りいたします  
譜久山安芳 78歳  
うるま市 9月16日  
安里典助 82歳  
与那国町 9月27日

「会員の計報について」  
謹んでご報告し、故人の  
ご冥福をお祈りいたします  
譜久山安芳 78歳  
うるま市 9月16日  
安里典助 82歳  
与那国町 9月27日

